

健康づくりと生涯学習

美^{うま}し美浜を協働で

美浜町長

山口 治太郎

Yamaguchi Jitarō



行政

明けましておめでとうございませす。町民の皆様には、希望に満ちた新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、皆様の温かいご支援とご厚情により4期目の町政を担わせていただくことになり、町民福祉の向上と町発展のため、全精力を傾注してまいりました。この間皆様には、町政運営に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成23年は、東日本大震災や台風による集中豪雨等、経験したことのない大きな災害が発生した年でした。まずは何より、今年に希望あふれる明るい一年となることを祈りたいものです。

さて、今年の町政運営について、いくつか述べさせていただきます。

まずは、第四次美浜町総合振興計画の将来像「自然かがやき 人いきいき まちがにぎわう美^{うま}し美浜」の実現に向けて、私の基本理念である「健康づくりと生涯学習 美^{うま}し美浜を協働で」に基づいた、積極的な政策を推進してまいりたいと考えています。

今年も「健康づくり」を推進するにあたり、町民の皆様一人ひとりが健康であることが幸福と元気の源であり、それが町の元気と活気につながるものと思っています。町では、健康づくり計画「健康みはま21」を策定しており、年代に応じ自分の健康に

関心を持つて、バランスのとれた食事と適度な運動、並びにがん検診をはじめとする各種健診を受診していただくことが重要であると考えております。これまで以上に、家族や地域ぐるみで健康づくりに取り組んでいただけるよう、積極的に健康づくりの施策を推進していきます。

高齢者対策として、(社)福井ゆうあい会による特別養護老人ホーム「やはず苑」が4月に開所いたしました。

保育園の整備については、昨年中央公民館跡地に新しい「せせらぎ保育園」を建設しており、新年早々には新しい園舎での保育が始まります。子どもたちのびのびと健康やかに育ってくれるものと期待しています。

観光振興については、体験観光の充実だけでなく、観光資源掘り起こしの一環として、早瀬の瑞林寺が舞台となった、さだまさしさん原作の「サクラサク」の映画化実現に向けて応援隊を結成し、美浜町のPRを図ります。

原子力行政については、まずは福島第一原子力発電所の事故の収束と検証が不可欠です。その上で、資源の乏しい我が国において、地球温暖化等の環境面を考慮すると原子力は重要なエネルギー源であり、またそれに代わるものがない中では、原子

力行政を推進していくことが、国策に協力してきた町の進む道と考えています。それには、福島のような事故を美浜では絶対に起こさないため、一段と厳しい安全・安心対策を最優先に考えていきます。

また、社会情勢の大きな変化や多様化する住民ニーズに対応するため、住民参加と協働のまちづくりの実現に向け、生涯学習の推進に取り組んできたところですが、今後さらに推進していく必要性を感じています。

その拠点施設として、新たな生涯学習センター「なびあす」を建設中です。本施設は、この9月に完成予定であり、町民の皆様の生涯学習の活動拠点として、町民が集い、学び、そして愛される施設となり、生涯学習の充実が図られるよう努力してまいります。

「みんなで築く協働のまち」については、これまでもハートフル対話や出前講座等を活用して、行政の情報を提供し共有することで、町民の皆様からまちづくりに関するご意見やご提案、ご要望等をお聞きしています。共に考え、足りない部分を補い合いながら施策を展開することが、協働のまちづくりにつながります。

今後とも町民の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



「絆」によって

未来を拓くまちを目指して

美浜町議会議長
北村 晋

議会

Kitamura Susumu

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

皆様におかれましては、清々しく新春をお迎えのことと思います。旧年中は、町政に対する温かいご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災。テレビ画面に映し出される深刻な被害の様に、ただ言葉を失いました。いまなお被災されている方々に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く心の傷が癒えますことをご祈念いたします。

さて、地震や津波、風水害等、ある日突然発生し甚大な被害をもたらす自然災害に対し自らの生命をいかにして守るか、日本国民として大きな課題に直面した一年でありました。

今、少しずつ大震災の検証が進んでいる中で、自主的な防災組織が充実している地域は、住民的的確な判断によって被害をより少なくすることができたケースが数多く報告されています。

人を思いやる心や人を支えたいという願い、互いに助け合いながら生きていくということ等、大規模な地震災害を経て、日常生活における人と人とのつながりがいかに大切かというのを改めて知らされたような気がします。この世界から自然災害がなくなることはないとしても、被

害を最小限に止め、困難を乗り越えて生きていくためには、「人との「絆」や地域との「絆」というものは不可欠だということなのでしょう。

さて、本年秋には、町民皆様の学びの拠点として、音楽ホールや図書館等充実した機能を備えた美浜町生涯学習センター「なびあす」が完成いたします。

町として、地域の皆さんの学びを支援することや、その学びをまちづくりに活かしていただくことはとても意義深いことであります。しかし、欲をいうなら、「なびあす」が地域の「絆」を育む拠点であってほしいという願いを私は持っております。

町民皆様のお力で、生涯学習センター「なびあす」を多くの笑顔が集う場所として育てていただくことを切に願います。ここが家族や友人、多くの人々との「絆」を育む場となれば、未来を拓く活力は自ずと生まれてくるのではないのでしょうか。

結びに、美浜町が心豊かに、安心して暮らせる町となるように、行政と時には競い合い、時には協力し合いながら、「責任」ある議会を目指して行動してまいります。本年も町議会に対し変わらぬご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶いたします。



↑生涯学習センター「なびあす」完成イメージ図（町役場西隣に建設）